

令和7年度 第2回三木市文化財保護審議会次第

日 時：令和8年3月26日（木）

午前10時～正午

場 所：みき歴史資料館 3階 講座室

1 開 会

2 報告事項

令和7年度文化財保護事業実績について【資料1】

3 協議事項

(1) 令和8年度文化財保護事業計画について【資料2】

(2) 市指定文化財の指定計画について【資料3】（非公開）

(3) 市指定文化財の指定について【資料4】

（諮問第1号）「馬大夫等連署証文」

4 その他

5 閉 会

三木市文化財保護審議会 委員名簿

	役職	氏名	分野	備考
1	会長	<small>みやた としたみ</small> 宮田 逸民	城郭史	再任
2	副会長	<small>よりふじ たもつ</small> 依藤 保	日本法制史	再任（公募）
3	委員	<small>ふじた ひとし</small> 藤田 均	郷土史	再任
4	委員	<small>ちぐさ ひろし</small> 千種 浩	文化財保存	再任
5	委員	<small>なかくぼ たつお</small> 中久保 辰夫	考古学	再任
6	委員	<small>やまだ たかお</small> 山田 貴生	民俗	再任（公募）
7	委員	<small>かがみ としあき</small> 各務 寿晃	仏教美術	新任（公募）

※ 任 期 令和6年6月1日から令和8年5月31日

令和 7 年度文化財保護事業実績について

1 事業実績

事業名	内容	実施日	実施場所
文化財保護審議会	〔第 1 回目〕 ・令和 7 年度文化財保護事業計画について他	11 月 13 日	みき歴史資料館
	〔第 2 回目〕 ・令和 8 年度文化財保護事業計画について他	3 月 26 日	
歴史・美術の杜推進事業関係 (1) 啓発関係	歴史ウォーク① 這田村法界寺山ノ上付城跡コース 参加者 32 人	4 月 17 日	這田村法界寺山ノ上付城跡他
	歴史ウォーク② 近世絵図で歩く三木城跡 雨天中止	5 月 17 日	三木城跡
	歴史ウォーク③ 秀吉本陣跡コース 参加者 32 人	11 月 22 日	秀吉本陣跡他
	歴史ウォーク④ 吉川町有安・鍛冶屋の文化財コース 参加者 18 人	1 月 24 日	有安古墳他
	歴史ウォーク⑤ 想像復原図で歩く三木城跡コース 参加者 31 人	2 月 15 日	三木城跡
	歴史ウォーク⑥ ホースランドパーク周辺付城跡コース 参加者 18 人	3 月 22 日	明石道峯構付城跡他
(2) みき歴史資料館	企画展① 東播系須恵器の話をしよう 来館者 2,435 人	4 月 19 日～ 6 月 22 日 (55 日間)	みき歴史資料館

	企画展② 三木の近代と戦争 来館者 1,926人	7月19日～ 9月28日 (61日間)	みき歴史資料館
	企画展③ 地域の史料たち8～細川の 歴史～ 来館者 1,714人	10月18日～ 12月21日 (56日間)	みき歴史資料館
	企画展④ 播磨の城めぐり一木内内 則さんが描く三木合戦関 連の城一 来館者 2,712人	1月24日～ 3月22日 (49日間)	みき歴史資料館
	みき歴史資料館協議会	10月30日 3月11日	みき歴史資料館
(3) 三木城跡及 び付城跡・土 塁の整備	平井山ノ上付城跡主郭展望 台解体撤去	4月9日～16 日	平井山ノ上付城 跡
	歴史の森マツ枯れ伐採撤去 作業委託	10月3日～1 月23日	明石道峯構付城 跡
	発掘調査検討委員会	10月24日 2月3日	みき歴史資料館
	『令和4～6年度 史跡三木城 跡及び付城跡土塁 発掘調 査報告書－三木城本丸跡・ 二の丸跡－』の作成	4月～3月	みき歴史資料館
埋蔵文化財発掘 調査等	①包蔵地照会件数 150件 ②届出件数 93条 6件 94条 0件 ③指導事項 慎重工事 2件 工事立会 4件 本発掘調査 0件 ※2月末時点	随時	市内
	確認調査 1件 ※2月末時点 ①大村坊貝子散布地 調査原因 共同住宅 遺構・遺物なし	11月14日	大村
	工事立会 5件 ※2月末時点 ①細川西片山散布地 調査原因 浄化槽埋設	4月18日	細川町西

	遺構・遺物なし ②大塚遺跡 調査原因 共同住宅 遺構・遺物なし ③大塚下り松遺跡 調査原因 個人住宅 遺構・遺物なし ④岩宮上畑ヶ遺跡第1地点 調査原因 個人住宅 遺構・遺物なし ⑤大塚瓢箪池遺跡 調査原因 個人住宅 遺構・遺物なし	6月10～12・ 24・26日 10月27日 11月4日 12月25日	大塚1丁目 大塚 大塚1丁目 大塚1丁目
埋蔵文化財維持・管理	遺跡管理除草作業 委託業者：(公社)三木市シルバー人材センター 直営：市職員	随時	三木城跡及び付城跡・土塁、正法寺古墳、与呂木青葉台古墳、愛宕山古墳、有安2号墳他
	与呂木青葉台3号墳擁壁修繕	1月23日～ 2月16日	与呂木青葉台3号墳
展示公開	別所ふるさと交流館埋蔵文化財展示室において、別所町の遺跡等を紹介	4月～3月	別所町下石野
文化財実態調査	『三木の石造品IV－志染地区編－』作成のための調査等を実施する。 調査ボランティア4人	4月～3月	市内

2 国登録文化財の登録

名称	年代	種別	所有者	登録年月日
稲見酒造店舗兼主屋 稲見酒造土蔵 稲見酒造熟成蔵 稲見酒造瓶場兼貯酒庫 稲見酒造煙突 稲見酒造巽塀 稲見酒造黒塀	昭和4年頃 昭和4年頃 明治中期 大正後期 昭和41年頃 昭和前期 明治中期	有形文化財 (建造物)	個人	令和8年2月10日

3 資料貸出等

依頼者	資料名	目的	許可日
神戸市	画像資料 三木合戦軍図 別所長治画像	神戸市埋蔵文化財センター夏季企画展「神戸の山城を描く」において展示、展示解説書・ポスター・チラシに掲載するため	5月30日

神戸市	木内内則氏作画 「三木城攻付城 群想像復原図」	神戸市埋蔵文化財センター夏季 企画展「神戸の山城を描く」に おいて展示するため	6月6日
戎光祥出版	画像資料 二位谷奥付城跡 C 測量図 ほか 計46点	金松誠『畿内近国の城郭と縄張 技術』に掲載するため	6月11日
戎光祥出版	画像資料 平井山ノ上付城 跡 赤色立体地図 ほか 計5点	高田徹編著『中世城郭の新論 点』に掲載するため	6月11日
テレコムスタ ッフ	画像資料 別所長治画像	令和7年12月放送予定のNHKBS 『チャリダー』にて使用するた め	6月27日
エディキュー ーブ	画像資料 三木合戦軍図	『TJMOOK 歴史アドベンチャー 豊臣一族 天下統一を成し遂げ た秀吉と秀長の軌跡』（仮題） に掲載するため	8月8日
風来堂	画像資料 三木城御城印	『戦国 Walker2026』に掲載する ため	10月9日
コミュニテイ ネット	画像資料 別所長治画像	『戦国 BATTLE データカード トランプ』監修：小和田泰経氏 に掲載するため	11月26日
小学館	画像資料 三木合戦軍図	『サライ』2026年2月号「大特 集 謎解き豊臣秀吉」（仮題） に掲載するため	11月27日
朝日新聞出版	画像資料 三木合戦軍図 別所長治画像 羽柴秀吉三木城 包囲図	隔月刊誌『歴史道』vol.43 豊 臣兄弟の史実（仮）に掲載のた め	12月4日
交通新聞社	画像資料 常設展示風景	『旅の手帖』2026年3月号に掲 載のため	1月16日
NHK プロモー ション	画像資料 桐唐草格子文様 片身替小袖	NHK大河ドラマ特別展「豊臣 兄弟！」における図録、広報物 及びメディアなどに掲載・放 送・配信するため	1月27日
ディスカバ ー・ジャパン	画像資料 三木城本丸跡 みき歴史資料館 内観・外観	月刊誌「Discover Japan」の3 月6日発売号「日本再発見の 旅」特集に掲載のため	2月20日

※2月末時点

4 講演等派遣事業

依頼元	内 容	講師	実施日	実施場所	参加者 (予定)
大阪歴史博物館	クラブツーリズム 「三木合戦と三木城 包囲網」	金松誠	5月31日	三木城跡・ みき歴史資料館	20人
游学サロン 二水会	7月例会 「三木市埋蔵文化財 の調査の概要」	金松誠	7月30日	堀光美術 館・みき歴史資料館	12人
豊地小学校	ふるさと三木の歴史 学習 「冷泉家と藤原惺窩」	金松誠	9月10日	豊地小学校	5人
安芸高田市 歴史民俗博 物館	公開講座第3回 「秀吉の播磨三木城 攻めと毛利氏」	金松誠	9月21日	安芸高田市 民文化セン ター	82人
三木市高齢 者福祉セン ター	三木の近代と戦争	金松誠	12月16日	高齢者福祉 センター	10人
アジア航測	城ドコ サロン2026～ 兵庫の陣～	金松誠	3月29日	スペースア ルファ三宮	(80人)

5 図書の発行

書籍の名称	編集・発行	発行部数	発行日
三木市文化研究資料第40集 『令和4～6年度 史跡三木城跡及び 付城跡・土塁発掘調査報告書—三木 城本丸跡・二の丸跡—』	三木市教育委員会	300部	3月31日
三木市文化研究資料第41集 『三木の石造品IV—志染地区編—』	三木市教育委員会	300部	3月31日

6 指定文化財に係る補助事業

事業者	指定文化財の名称	内容
有安地区	有安 阿弥陀三尊種子板 碑（自然石）	・近接する有安地区が所有する土地 に板碑を移設し、台座に埋設して 立てた。
伽耶院	伽耶院	・消防設備保守点検（県補助随伴）
東光寺	東光寺本堂	・消防設備保守点検（県補助随伴）
歎喜院	歎喜院聖天堂	・消防設備保守点検（県補助随伴）
天津神社	天津神社本殿	・消防設備保守点検（県補助随伴）
稲荷神社	稲荷神社本殿	・消防設備保守点検（県補助随伴）

6 文化関係団体の育成及び活動支援

事業名	内 容	実施日	実施場所
<p>地域文化財総合活用推進事業</p>	<p>伝統文化の保存団体が地域の伝統文化を継承するため実施する伝承者等の養成、用具等の整備、映像記録の作成に対し、文化庁の補助事業によって一定の限度額の範囲で事業支援する。</p> <p>1 伝統文化継承基盤整備事業 祭りの屋台・獅子舞等地域の文化遺産継承のために用いる用具の新調・修理事業 新調・修理した用具を使った体験事業や一般公開を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 下町屋台保存会 支援内容 水引幕の修理 ・ 平田屋台保存会 支援内容 高欄及び飾り金具の修理 ・ 大手町屋台保存会 支援内容 水引房等の新調 ・ 御坂神社太鼓保存会 支援内容 水引幕掛金具の修理 ・ 興治獅子舞保存会 支援内容 獅子舞用具獅子頭等の修理、獅子舞用具油単等の新調 ・ 下石野青友会 支援内容 獅子舞用具別誂天狗衣装の新調 	<p>4月～3月</p>	<p>市内</p>

令和 8 年度文化財保護事業計画について

1 事業計画

事業名	内容	実施日	実施場所
文化財保護審議会	〔第 1 回目〕 ・令和 8 年度文化財保護事業計画について他	10 月頃	みき歴史資料館
	〔第 2 回目〕 ・令和 9 年度文化財保護事業計画について他	3 月頃	
歴史・美術の杜推進事業関係 (1) 啓発関係	歴史ウォーク① 這田村法界寺山ノ上付城跡コース	4 月 17 日	這田村法界寺山ノ上付城跡他
	歴史ウォーク② 愛宕山古墳・正法寺古墳コース	5 月 17 日	愛宕山古墳他
	歴史ウォーク③ 近世絵図で歩く三木城跡	10 月 31 日	三木城跡
	歴史ウォーク④ 秀吉本陣跡コース	11 月 21 日	秀吉本陣跡他
	歴史ウォーク⑤ ホースランドパーク周辺付城跡コース	3 月 21 日	明石道峯構付城跡他
	三木城トークショー	11 月 29 日	市文化会館
(2) みき歴史資料館	企画展① 三木の古墳	4 月 18 日～ 6 月 21 日	みき歴史資料館
	企画展② 秀吉・秀長の播磨攻めと城郭 (仮)	7 月 25 日～ 9 月 27 日	みき歴史資料館
	企画展③ 地域の史料たち 9 (仮)	10 月 17 日～ 12 月 20 日	みき歴史資料館
	企画展④ 三木の染形紙 (仮)	1 月 23 日～ 3 月 22 日	みき歴史資料館
	歴史資料館協議会	10 月頃 3 月頃	みき歴史資料館

(3) 三木城跡及び付城跡・土塁の整備	史跡危険木等伐採	随時	三木城跡及び付城跡・土塁
	整備検討委員会	6月頃 12月頃	みき歴史資料館
	三木城本丸跡かんかん井戸 落下防止柵設置工事	8月～10月頃	三木城本丸跡
	三木城二の丸跡外来樹木等 伐採業務委託	10月～12月 頃	三木城二の丸跡
埋蔵文化財発掘 調査等	開発等にかかる緊急調査	随時	市内
埋蔵文化財維 持・管理	遺跡管理除草作業 委託業者：(公社)三木市シ ルバー人材センター 直営：市職員	随時	三木城跡及び付城跡・土塁、正法寺古墳、与呂木青葉台古墳、愛宕山古墳、有安2号墳他
展示公開	別所ふるさと交流館埋蔵文化財展示室において、別所町の遺跡等を紹介	4月～3月	別所町下石野
文化財実態調査	『三木の石造品Vー口吉川地区編一』作成のための調査等を実施する。 調査ボランティア 4人	4月～3月	市内

2 講演等派遣事業

依頼元	内 容	講師	実施日	実施場所	参加者 (予定)
大阪府高齢者大学校	名城を講師と巡る科 「三木城と付城群探訪」	金松誠	5月12日	三木城跡他	未定
兵庫県学校厚生会東播支部	歴史教室 「秀吉・秀長の播磨攻めと城郭」	金松誠	8月19日	兵庫県学校厚生会東播活動センター	未定
三木甲冑倶楽部	三木城夏の陣 2026 シンポジウム	金松誠	8月23日	中央公民館	200人

3 図書発行

書籍の名称	編集・発行	発行部数	発行日
三木市文化研究資料第42集 『三木市埋蔵文化財発掘調査報告書—令和3～7年度—』	三木市教育委員会	300部	3月31日

4 指定文化財に係る補助事業

事業者	指定文化財の名称	内容
伽耶院	伽耶院開山堂	・危険木等の伐採（県補助随伴）
	伽耶院	・消防設備保守点検（県補助随伴）
東光寺	東光寺本堂	・消防設備保守点検（県補助随伴）
歎喜院	歎喜院聖天堂	・消防設備保守点検（県補助随伴）
天津神社	天津神社本殿	・消防設備保守点検（県補助随伴）
稲荷神社	稲荷神社本殿	・消防設備保守点検（県補助随伴）

5 文化関係団体の育成及び活動支援

事業名	内容	実施日	実施場所
地域文化財総合活用推進事業	<p>伝統文化の保存団体が地域の伝統文化を継承するため実施する伝承者等の養成、用具等の整備、映像記録の作成に対し、文化庁の補助事業によって一定の限度額の範囲で事業支援する。</p> <p>1 伝統文化継承基盤整備事業 祭りの屋台・獅子舞等地域の文化遺産継承のために用いる用具の新調・修理事業 新調・修理した用具を使った体験事業や一般公開を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下町屋台保存会 支援内容 木鼻・木鼻龍の金箔及び屋根布団台の修理 ・石野町祭り保存会 支援内容 水引幕、高欄掛けの修理 ・六社屋台保存会 支援内容 鳴り太鼓の修理 ・栄町公民会 支援内容 担ぎ棒の新調 ・大村自治会 支援内容 水引房、提灯房の新調 ・細川中上自治会 支援内容 担ぎ棒の新調 	4月～3月	市内

市指定文化財の指定について

- 1 三木市指定文化財の指定について（諮問）
（諮問第 1 号）「馬大夫等連署証文」
- 2 文化財の概要
別紙のとおり
- 3 文化財の実見

諮問第 1 号

三木市指定文化財の指定について（諮問）

三木市文化財保護条例第6条第1項の規定に基づき、次の文化財を三木市指定文化財に指定したいので、三木市文化財保護審議会に諮問します。

令和8年3月26日

三木市教育長 大北由美

- | | | |
|---|--------|--|
| 1 | 文化財の種別 | 有形文化財（古文書） |
| 2 | 文化財の名称 | <small>うまだゆうとうれんしよしょうもん</small>
馬大夫等連署証文 |
| 3 | 文化財の所在 | 三木市上の丸町4番5号 三木市立みき歴史資料館
(三木市総務部市史編さん室所管) |
| 4 | 所有者 | 三木市 |
| 5 | 文化財の概要 | 「大野文書」として大野家（志染町戸田）に伝来した
もの。文明15年（1483）4月3日付で、「宇和谷之池」
の水利や池周辺の村境について大戸田村と小戸田村（と
もに志染町戸田）の間で取り決めた証文である。宇和谷
之池は戸田字兼射場の岩ヶ池に比定されている。署名者
6名は淡河荘における有力農民と考えられている。
三木市内において、当時の村落における水利慣行を具
体的に知ることができる重要な史料である。 |

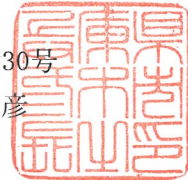
様式第1号(第2条関係)

三木市指定文化財指定申請書

令和8年3月13日

三木市教育委員会 様

申請者 住所(所在地) 三木市上の丸町10番30号
(所有者等)氏名(名称) 三木市長 仲田 一彦



三木市文化財保護条例第6条の規定により、次のものを三木市指定文化財に指定されるよう申請します。

指定の種別	有形文化財(古文書)	員数	1
名称	馬大夫等連署証文		
所在の場所	三木市上の丸町4番5号 三木市立みき歴史資料館 (三木市総務部市史編さん室所管)		
概要	「大野文書」として大野家(志染町戸田)に伝来したもの。文明15年(1483)4月3日付で、宇和谷池の水利や池周辺の村境について大戸田村と小戸田村(ともに志染町戸田)の間で取り決めた証文である。宇和谷池は戸田字兼射場の岩ヶ谷池に比定されている。署名者6名は淡河荘における有力農民と考えられている。		
指定を申請する理由	三木市内において、当時の村落における水利慣行を具体的に知ることができる重要な史料であるため。		
その他参考となる事項			

(注)	住所(所在地)	氏名(名称)
その他の所有者等		印
		印

(注) 所有者等が、複数あるときに記入してください。



「馬大夫等連署証文」概要

法量：縦 33.2 cm 横 49.5cm 時代：室町時代（文明 15 年）

所蔵：三木市

「大野文書」として大野家（志染町戸田）に伝来したものである。文明 15 年（1483）4 月 3 日付で、「宇和谷之池（ウワガヤノイケ）」の水利や池周辺の村境について、淡河荘大戸田村と小戸田村（ともに志染町戸田）の間で取り決めた証文である。

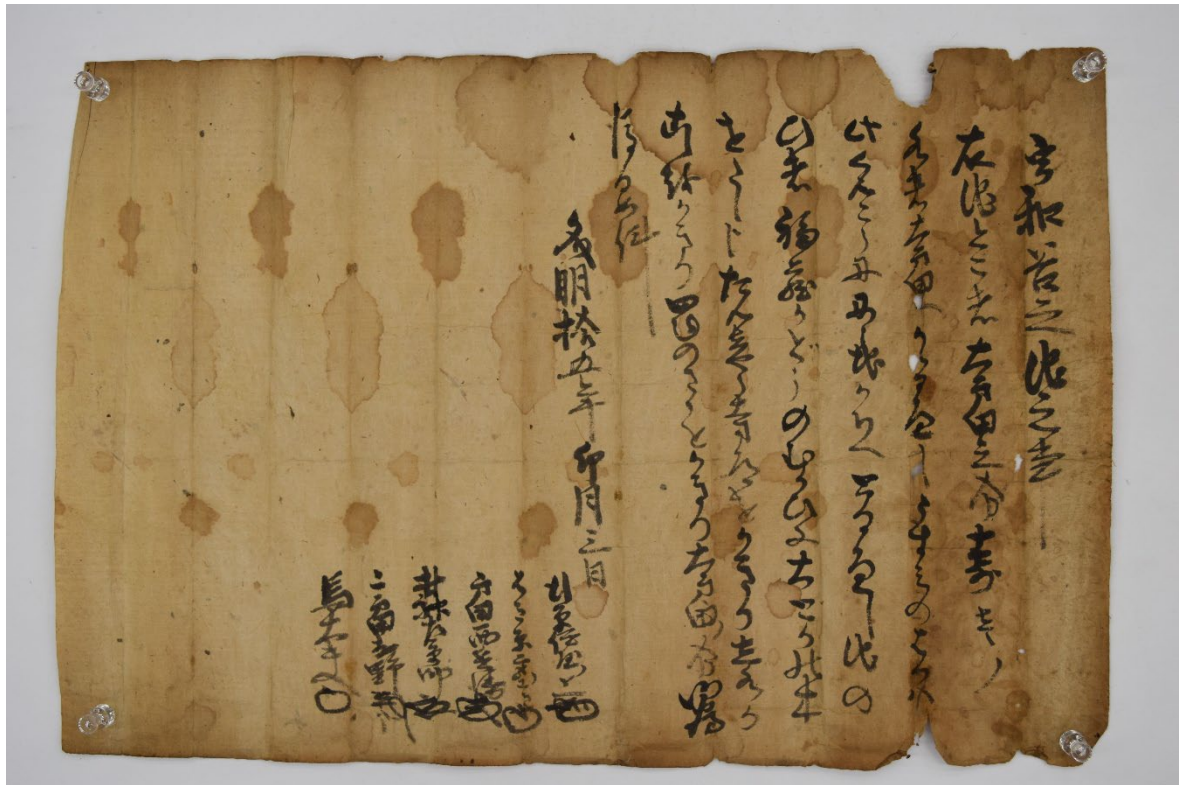
「宇和谷之池」とは、戸田の宇和谷の入口にある字兼射場の「岩ヶ池」に比定されている。

内容としては、宇和谷之池は小戸田の人々が築造したが、その池床は大戸田の土地であった。このため、10 分の 1 の水が大戸田へかかる約束となったようである。また、池の樋を抜いた時の最後の水「うすミのはつ」は、大戸田の地に築かせてもらったお礼として、「丹う地かち（現在の字入寺ヶ市・にゅうじがいち）」の田地に権利が与えられている。「うすミのはつ」とは、「渦水の発」のようである。池の樋を抜いた時、最後池底の水に渦が巻く。渦巻きが発生した後の水が「うすミのはつ」である。

文書の後半は、宇和谷之池周辺の両村の境を確認したものである。「丹生寺道」「志水が越」「岡の坂」を限り大戸田の分としている。池床が大戸田の土地だったので、この時に両村の境の再確認が行われたものと思われる。

連署した者は 6 名である。「行原」「萩原」は現神戸市北区淡河町行原・萩原の人物、「戸田西兵衛」は現志染町戸田の人物とみられる。「村神」については、江戸時代に淡河組の大庄屋と本陣を勤めていた村上家や三津田の村上家など、淡河荘内の各地に村上家があり、「於野」については、小戸田に小野妹子の末裔という伝承を持つ小野家がある。「馬大夫」については不明であるが、文書を所有していた大野家の先祖の可能性もある。署名者 6 名は淡河荘における有力農民と考えられる。

このように、当文書は三木市内において当時の村落における水利慣行を具体的に知ることができる重要な史料である。



馬大夫等連署証文

宇和谷之池之事

(床)は
右池とこ者大戸田之分、十歩壺ノ水者大戸田へかゝるへし、
(渦水) (発) (勲 功) (垣内)
うすミのはつハ此くんこうに、にう地かちへとるへし、池の
(種) (洞) (向) (梅) (立) (丹)
ひ者、福蔵かどうのむかひに、大とかの木をたて申、たんし
(生) (限) (清水) (越)
やう寺道をかきり、志水かこしをかきり、岡のさかをかきり、
大戸田ノ分、仍為後日如件、

文明拾五年卯月三日

行原伊屋ノ上(略押)
はき原宮ノわき(略押)
戸田西兵衛(略押)
村神左京助(略押)
こ戸田於野(略押)
馬 大 夫(略押)

馬大夫等連署証文 翻刻文